

ダイワ・ロシア株ファンド 基準価額の下落について

2015年4月20日

当社公募投信のうち、以下のファンドの基準価額が5%以上下落していますので、お知らせいたします。

※ブル・ベア型投信、ETF(上場投資信託)を除く。

回数コード	4月20日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比騰落率
4778	ダイワ・ロシア株ファンド	8,609 円	-479 円	-5.3%

※当日の収益分配金(税引前)支払い前の価額を用いて前日比騰落率を算出しています。

◆以下に主な基準価額変動要因となった市場環境について掲載します。

【ロシア株式市場の動向および今後の見通し】

4月17日(現地)のロシア株式市場は、RTS指数(米ドル建)で5.9%下落しました。中国当局が株式の信用取引に関する規制を強化する方針を示したこと、上海証券取引所と深セン証券取引所が空売り規制の緩和を表明したこと、ギリシャのユーロ離脱観測が強まったことなどを受けて、欧米市場を中心にリスク資産回避の動きが強まり、株式市場は下落しました。為替市場においても、1月末以降の上昇に対して利益確定売り圧力が強まる中、前述のようなマイナス要因が台頭したことを受けて、ルーブル安となりました。

ウクライナと分離独立派は停戦で合意し、事態の緊迫化は後退しましたが、停戦は問題の根本的な解決というわけではなく、事態の安定化と西側諸国による経済制裁の解除を楽観視するには時期尚早と考えます。一方で、ロシア経済は、小売売上高の減少や生産設備投資の落ち込みなどから減速していますが、**2月以降、インフレ率は前月比で見て鈍化してきています**。これを受けて、中央銀行も金融政策を引き締めから緩和へ変更し、今後は、追加利下げも期待されます。西側諸国による経済制裁の長期化、ウクライナの債務再編をめぐる交渉などが不透明要因ですが、ロシア経済は徐々に最悪期を脱しつつあると思われます。

ロシア株式市場は、株価水準が割安であることに加え、主要先進国や中国などの中央銀行が緩和的な金融政策を維持していることや、原油価格の下値不安が後退してきたことなどを勘案すると、従来と比較して市場環境は改善してきたと考えています。ただし、短期的には、ギリシャの債務問題、中国の経済や株式市場などへの規制動向、ウクライナ情勢と西側諸国による追加の経済制裁、原油価格の動向などを見極めながら値動きの大きな展開を想定しています。

次頁に主要経済指標の動きを掲載しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金を支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【主要指標の動き】

市場動向（株価指標）

市場指数	直近値 3月17日	騰落率 前日比
ロシア RTS指数（米ドル建）	998.96	▲5.9%

市場動向（為替、対円）

市場指数	直近値 3月20日	騰落率 前日比
ロシア・ルーブル	2.30	▲3.8%

※為替の騰落率は、投資信託協会が指定した金融機関によるわが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。

（出所）ブルームバーグのデータを基に大和投資信託が作成

以上

ダイワ・ロシア株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ロシアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

ファンドの特色

1. ロシアの株式（注）の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資します。
（注）「株式」… DR（預託証券）、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替変動リスクが発生する場合があります。
 - 運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。
 - ①業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。
 - ②財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着目し、買付候補銘柄を決定します。
 - ③ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。
 2. ロシアの株式の運用は、デカ・インベストメント社が行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・マザーファンドは、「ダイワ・ロシア株マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。
- 「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
- ※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
- ※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は、 3.24%（税抜 3.0%） です。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率 1.8144%（税抜 1.68%） ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会